

株式会社アイワード

URL <http://www.iword.co.jp>



障がいをハンディではなく、個性として受けとめる

障がいをハンディと捉えるのではなく、その人の個性として受けとめることが、まず心構えとして必要です。また、個々人の意欲や障がいの特性を見きわめて配属を考慮するなど、受け入れる側が工夫しなければならない点もあります。難しい問題については、行政のサポートを受けるという方法もありますので、まずは実際に雇用してみること。それが採用への第一歩です。

職場を語る
仕事を語る



(株)アイワード
山本 恵理さん

学生時代に学んだデザインの仕事ができる職場。それを優先条件として出会ったのがアイワードです。現在はプリプレス部に所属し、DTPオペレーターとして印刷物の文字入力やレイアウトなど組版を行っています。この部署には現在、私のほかに2名の聴覚に障がいのある人が障がいのない人と机を並べ勤務しています。私と同じ聴覚に障がいがあり、企業への就職を希望する方には、日本語の読み書きをしっかりと身につけてほしいとアドバイスしたいです。



インタビュー後記

アイワードのDTP部門の先駆けとなった山本さんは、なんと全国障害者技能競技大会で金賞、国際アビリンピック(英文DTP部門)においては銀メダルを受賞されました。一つの道を極めようとする山本さんの真摯な姿勢が伺えました。